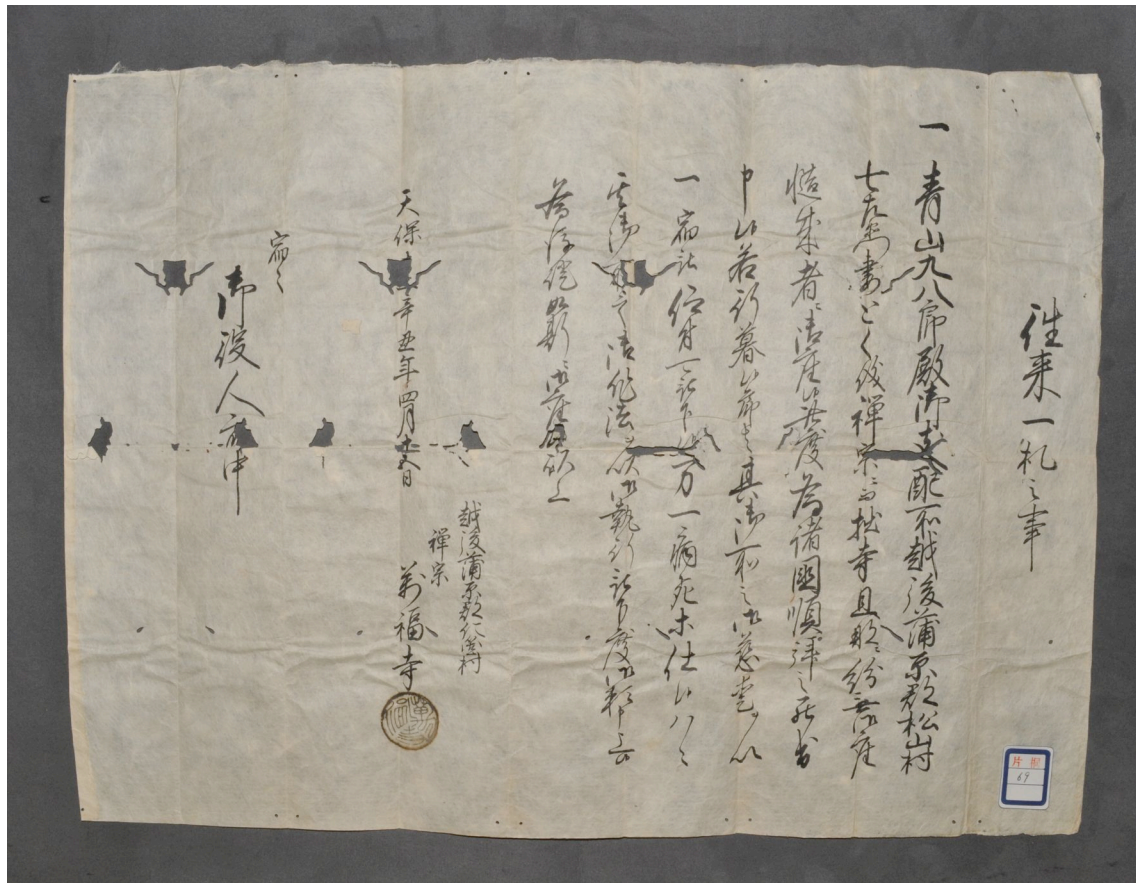


おおすけご
新潟町大助買片桐家文書

おおすけご
「大助買」は江戸時代の鮮魚問屋のことで、新形町では現在の新潟市中央区本町通11番町にありました。鮮魚問屋片桐家を中心に小売業者仲間が集住して、鮮魚商活動の拠点でした。片桐家文書はその状況を知る文書をはじめ、代々熱心な真宗門徒であったことがうかがえる文書も多く含まれています。

貞享5～明治44年 771点
(請求記号：E1015)



天保12年4月 往来手形

松山村七左衛門妻とくが諸国巡拝の旅を願い出たので、檀那寺であった仁箇村萬福寺が発行した往来手形。旅先で行き暮れた際には旅宿の世話を、病死した場合にはその土地の作法による処置を依頼している。